

教員一覧

(2019年4月1日現在)

■所長

小松 和彦 文化人類学、民俗学、口承文芸論

■副所長

荒木 浩 日本文学
劉 建輝 日中文化交流史

■教授

磯前 順一 宗教学、批判理論
伊東 貴之 中国思想史、東アジア比較文化交流史
稲賀 繁美 比較文学比較文化、文化交流史
井上 章一 風俗史
牛村 圭 比較文学、比較文化論、文明論
大塚 英志 まんが表現史、まんが創作論、近代文学史
倉本 一宏 日本古代史、古記録学
関野 樹 情報学
瀧井 一博 国制史、比較法史
坪井 秀人 日本近代文学・文化史
ジョン・グリーン 日本の近代史
細川 周平 音楽学、日系ブラジル史
松田 利彦 日朝・日韓関係史
安井 眞奈美 日本民俗学、文化人類学
山田 奨治 情報学、文化交流史
マルクス・リュッターマン 日本中世社会史・記号論・心性史・言動史

■准教授

磯田 道史 日本史学
榎本 涉 中世国際交流史
楠 綾子 日本政治外交史、安全保障論
フレデリック・クレインス 日欧交渉史

■助教

石川 肇 日本近代文学
呉座 勇一 日本中世史
白石 恵理 日本美術史
古川 綾子 日本芸能史

■特任助教

石上 阿希^{*} 近世文化史
前川 志織 日本近代美術史、デザイン史



※人間文化研究機構 総合人間文化研究推進センター 特任助教
(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)

交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

JR桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

JR京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」で約45分

バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL (075) 335-2222(代) / FAX (075) 335-2091

<http://www.nichibun.ac.jp>

表紙: 建築家 内井昭蔵氏による日文研設計時のイメージスケッチ



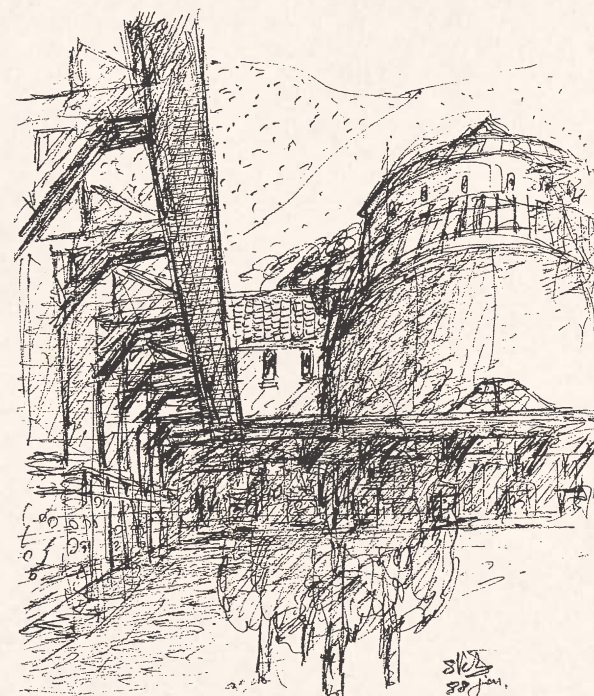
National Institutes for the Humanities
International Research Center for Japanese Studies

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化研究センター

2019

概要



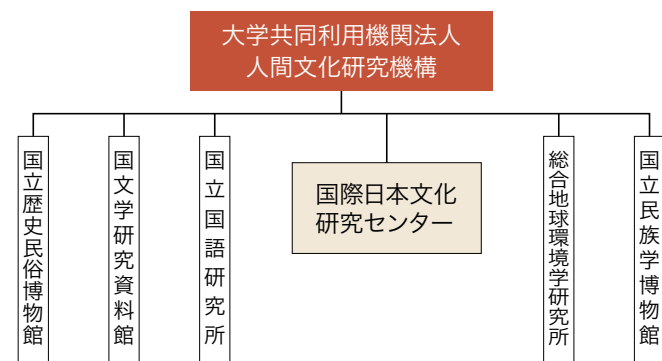
■ 日文研とは

国際日本文化研究センター(以下、日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本研究の国際的拠点としての役割を担っています。

■ 組織



■ 日文研の役割

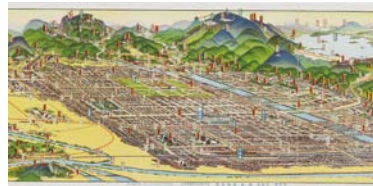
1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究は、「重点共同研究」「国際共同研究」「基幹共同研究」という3領域のもとに、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、和文・英文による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻・博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し（図書資料約55万冊）、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



京都名所案内鳥瞰圖：御大禮記念：大丸を中心とせる
【日文研所蔵】



クラツソ『著名武將列伝』所収の家康肖像【日文研所蔵】

データベース

日文研は、所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在46種類をウェブで公開しています。

※2019年4月1日現在



データベースの一例

活動

研究活動

共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

基幹研究プロジェクト

人間文化研究機構が第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）に掲げるプロジェクトです。日文研では「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」事業等を通じ、国際的な研究ネットワークの再構築と、人間文化の新たな価値体系の創出を目指しています。

「国際日本研究」コンソーシアム

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる大学院・研究所等を連携させ、海外研究者ネットワークと結びつけることを目指した我が国初の試みです。学術的共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

研究協力活動

国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成事業のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。

- ・外国語で書かれた日本研究図書
- ・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
- ・海外における日本研究者・研究機関に関する情報

これらはデータベース化され、広く公開されています。

学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

普及活動

研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、『Japan Review』、『日文研叢書』、『Nichibunken Monograph Series』、『共同研究報告書』、『日文研』、『NICHIBUNKEN NEWSLETTER』などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研フォーラム、日文研・アイハウス連携フォーラムなどを開催しているほか、地域の小学校への出前事業も実施しています。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

共同研究

2019年度 共同研究一覧

(2019年4月1日現在)

研究課題	研究代表者
投企する古典性——視覚／大衆／現代	教授 荒木 浩
「運動」としての大衆文化	教授 大塚 英志
音と聴覚の文化史	教授 細川 周平
応永・永享期文化論——「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざままで——	客員准教授 助教 大橋 直義 呉座 勇一
大衆文化と文明開化：幕末から明治への激動期における大衆メディアの位置及び役割	外国人研究員 アリスティア・スウェール
マス・メディアの中の芸術家像	客員准教授 教授 松井 茂 坪井 秀人
差別から見た日本宗教史再考——社寺と王権に見られる聖と賤の論理	教授 磯前 順一 客員准教授 吉村 智博
身体イメージの想像と展開——医療・美術・民間信仰の狭間で	教授 海外共同研究員 安井真奈美・ローレンス・マルソー
東アジアにおける哲学の生成と展開——問文化の視点から	外国人研究員 廖 欽彬
近代東アジア文化史の再構築Ⅰ——19世紀の百年間を中心に	教授 劉 建輝
帝国のはざまを生きる——帝国日本と東アジアにおける移民・旅行と文化表象	客員教授 教授 蘭 信三 松田 利彦
比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想——王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼——	教授 伊東 貴之
多文化間交渉における「あいだ」の研究	教授 稲賀 繁美
近代東アジアの風俗史	教授 井上 章一 共同研究員 齋藤 光
「かのように」という原理で形成してきた文通——「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	教授 マルクス・リュッターマン
縮小社会の文化創造：個・ネットワーク・資本・制度の観点から	教授 山田 奨治
文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ	教授 牛村 圭
東アジア冷戦下の日本における社会運動と文化生産	客員教授 教授 宇野田尚哉 坪井 秀人
近代日本思想を読み直す：次世代への知の継承・刷新のためのツール開発——21世紀の国際的視野に立った学際的・総合的・批判的研究	客員教授 教授 中島 隆博 稲賀 繁美
「日本型」教育文化を問い直す——新たな人間形成論をめざして	客員教授 教授 稲垣 恭子 瀧井 一博



最近の日文研出版物



第67回学術講演会

2018年度 活動の記録

2019年度の活動についてはお問い合わせ下さい。

*は一般の参加が可能なものです。

活動一覧		
2018年4月	日文研フォーラム*	重々たる法界 目前に彰らかなり——禪院の塔頭における「境地」の選定
5月	日文研フォーラム*	日本国民の戦争記憶をめぐる映画戦争
	創立30周年記念国際シンポジウム	世界の中の日本研究——批判的提言を求めて——
6月	日文研フォーラム*	嘉納治五郎と近代中国——時代を超えた知性と智慧
7月	展示*	「日文研の妖怪パネルで遊ぼう！」——国際日本文化研究センターの活動紹介と妖怪パネル展示——
	「国際日本研究」コンソーシアム国際ワークショップ	人文科学と社会科学の対話——国際日本研究の立場から
	日文研・アイハウス連携フォーラム*	日系ブラジル社会の集い——カラオケ、映画、俳句
9月	日文研フォーラム*	日本と韓国における「災難文学」の比較とその文化的背景
	大衆文化研究プロジェクト教育プログラム	大衆文化研究国際ワークショップ・シリーズ講座 IN北京
10月	展示*	日文研コレクション 描かれた「わらい」と「こわい」展——春画・妖怪画の世界——（細見美術館）
	東アジア日本研究者協議会	第3回東アジア日本研究者協議会国際学術大会
	大衆文化研究プロジェクト総合国際シンポジウム	メディアミックスする大衆文化
11月	展示*	想像×創造する帝国 吉田初三郎鳥瞰図へのいざない
	一般公開*	京都と時代劇
12月	日文研・アイハウス連携フォーラム*	『現代用語の基礎知識』からみた戦後日本の「宗教史」
	日文研フォーラム*	高齢化するアジア社会における家族の変容——日本の過疎地の高齢者福祉に関する調査研究
	国際研究集会	世界史のなかの明治／世界史にとっての明治
	展示*	おいしい広告2：ヨーロッパと日本の酒・煙草・菓子のポスター（京都市芸繊維大学美術工芸資料館）
2019年1月	日文研フォーラム*	猫鬼の話——お伽草子「酒呑童子」と近世のパロディ絵巻——
2月	日文研フォーラム*	古代日本の国際交流における動物の贈答——ラクダ・羊を中心に
	日文研・アイハウス連携フォーラム*	明治日本オリンピック事始め～スポーツ文明論試論
3月	学術講演会*	子どもをめぐるグラフィックデザイン——日本の洋菓子広告をてがかりに 京都の尼僧像にそそぐ光明——尼門跡寺院の新たな歴史をひらく
	日文研フォーラム*	近代中国革命の思想的起源——日本からの建国思想の受容を中心に